



有終の美を飾る

3年生は、1月30日(金)に私立高校一般入試が行われました。受験に挑んだ皆さん、大変お疲れ様でした。しかしながら、2月8日(日)が石高専一般入試、2月9日(月)が公立高校推薦入試、3月10日(火)11日(水)が公立高校一般入試と、まだまだ踏ん張りの期間が続きます。そして、いよいよ3月14日(土)が卒業式となります。14日以降にも、定時制、通信制課程の入試もあります。一人一人が義務教育終了というゴール、そして新たな旅立ちに向かって、残りの日々を共に励まし合い、高め合い、助け合いながら、「最高のフィナーレ」を仲間、先生方と一緒に迎えよう。



2年生は、2月2日(月)に「立志式」がありました。住川佑志さんが生徒代表として「誓いのことば」を述べました。『今の私たちにできることは、毎日の学習や生活を通じて自身を成長させるよう努力しながら、将来どんな大人になりたいかを真剣に考えること。人から信頼される大人になりたいです。自分のためだけでなく、誰かのことを思って行動できる、そんなあたたかな心を持った人が、私の理想とする大人です。』



と力強く誓いを立ててくれました。立志式を一つの節目として、一人一人が「最高学年としての誇りと自覚」をしっかりと意識して、今年度を締めくくってください。

1年生は、1月24日(土)に「生き方を学ぶ会」を行いました。講師の方々の経験に基づく生きたお話から、「働くということ」「仕事」「職業」の意味を考える大変有意義な機会となったことだと思います。また、事前準備から当日の運営において、各役割を一人一人が責任を持って務めていた皆さんの姿を目にし、大変頼もしく、一年間の成長を感じることができました。もうすぐ新1年生を迎えることとなります。「先輩としての自覚」をしっかりと意識して、1年生としての学校生活を締めくくってください。



ちょっといい話

昨日27日(火)、地域の方から、次のような内容の電話がありました。
「朝、登校中の鳴和中生3名が、雪道の中、重いゴミ袋を持って歩いているおばあさんに歩み寄り、ゴミ袋を代わりに持って、ゴミ置き場まで運んであげていました。とっても素敵な光景だったので、お伝えしなくてはと思い、電話しました」

連絡を受け、各クラスで、「心当たりのある人は名乗り出で欲しい」と伝えたところ、その3名は、横山輝糸さん(2年)、前川阿琉さん(2年)、高橋颯太朗さん(1年)でした。

『大雪の翌日で、歩道が塞がっており、そのおばあさんは雨の中、車道を重いゴミ袋をもってなんとか歩いていました。車道には、車が何台も連なっている状態だったこともあり、おばあさんに声をかけ、代わりにゴミ袋をゴミ置き場まで運びました』

鳴和中生の前に、生徒の皆さんも地域の一員でもあります。地域の方から今回のようなお話を聞くことができて、本当にうれしい気持ちでいっぱいです。 学校HP SCHOOL LIFE 1月28日より 一部改

卒業証書授与式について



今年度の卒業式は3月14日(土)午前10時から本校体育館で挙行いたします。

受付は9時~9時40分に1階玄関ホールにて行います。卒業生の歓送等により駐車スペースがありませんので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。なお、3年生保護者の皆様には、詳しいご案内を近日中にお渡しいたしますのでご確認ください。